

1)「全日本ジュニア選抜大会」選手選考の手順、基準、発表:

- ① 各支部から推薦選手が提出される。
- ② 戦績及び優先順位に従い同一支部からの出場は階級(クラス)で1人を原則に仮選抜。
- ③ それを支部に通知して支部長の希望を加味する。
- ④ それらを考慮して最終決定。

2) 各支部へ「申し込み時の注意事項」 :大会名は略称でなく全部正確に。

- ① 全国大会は優勝や準優勝だが、地区や県の場合は1位、2位と表記。
- ② [第〇回大会]だけでなく、「第〇回09春大会1位」というように前後が分かるよう補足。
- ③ 複数の階級(クラス)の場合は「09年(春)〇・△年生 200以上クラス1位」と階級(クラス)も入れる。

3) 選考基準 :複数で申し込んでいる場合の選考基準は以下の通り。

- ① 基本的に同一支部からの出場は階級(クラス)で1人とする。
- ② 階級の固定化は、無理な減量で子供の健康を損ねる危険性があるし、階級(クラス)により試合数(何回戦)に偏りが出来たりするので、募集は学年毎に行い、それを2~3等分して階級(クラス)分けする(その際も、同じ階級(クラス)でも実力や体力で極端な差があるなら、各階級の選手数は等分にはならない場合がある)。

※ 従って、申し込み時点での階級(クラス)分けはしていないので、少数の微妙な体重の子は「どの階級(クラス)に入るか分からない」という難点はあるが、上記の利点を考え現行案を採用している。

- ③ 同階級(クラス)では当然、支部推薦の優先順位が高い者が出場。

a) 支部が優先順位を付ける場合は、全体での通しではなく階級(クラス)毎に。

b) 複数の支部を管轄する場合で、同じ階級(クラス)に別々の支部や道場から申し込む場合は、

「〇△支部②」、「〇□同好会③」では比較出来ないので「支部長名+番号」で記入する。

※ 県や地域により「〇△県大会」と「〇△県選抜大会」もあるので優先順位は必ず記入。参考:2)の②。

- ④ 優先がない場合は戦績

d) 地方の大会結果が本部への提出がなされていない場合、戦績を書いてあっても試合規模やレベルが他と比較できないので選考資料にならない。大会結果は必ず提出すること。

e) 正式な大会名で「09年△□県大会」と「第10回△□県大会」が同じだったりするので、
第何回や年号だけでなく、その後に(09 春)というように季節を入れる。

⑤ 戦績は原則的に、全国、地区、県の順に評価する。

⑥ 競合者がなくても他の選手と比べレベルに差があり過ぎる場合は出場を見合わせる。

4) **結果発表文例**。以下のような結果が該当する支部に通知される。

・1, 2 年男子 は、A が申し込んでも、戦績も無理がないので出場。

・3, 4 年男子 は○△以下と以上。○△以下には B も申し込んでいるが、戦績で優れているので C が出場。

・5, 6 年男子 は▽□未満と以上。▽□以上には H のみ申し込んでいるが、他地区と比較しても戦績が優れているので出場。

・5, 6 年女子 は I も申し込んでいるが、戦績で優れているので J の出場。

5) **組み合わせ時の留意事項** :

① 極力 3～4 回戦で決勝戦になるよう階級分けをする。

② 同じ階級でも極力前半と後半に分けて組み合わせる。